

# 身障

# いわて



社会福祉法人 岩手県身体障害者福祉協会  
岩手県障がい者社会参加推進センター

〔電話〕 019 (637) 7636 〔FAX〕 019 (637) 7626

〒 020-0831

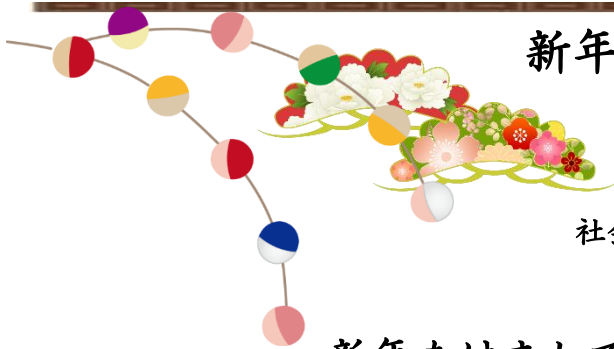
盛岡市三本柳 8-1-3 ふれあいランド岩手内

発行人 藤井 公博

第116号 令和 4年 1月 1日 発行

Eメール fks-hon01@iwashin.or.jp

## 新年のあいさつ



社会福祉法人岩手県身体障害者福祉協会  
会長 藤井 公博



### 新年あけましておめでとうございます

昨年は、第16回東京2020パラリンピック競技大会が予定通り開催され障害者スポーツの素晴らしさが私たちに初め多くの国民に共通の理念が広がったと思います。

無観客というスポーツでは考えられない「対策」の上での実現でした。

また、コロナ感染症拡大防止のため、岩手県身体障がい者福祉大会が昨年につき、延期、そして中止となりました。

釜石市での大会を心待ちにしていた会員の皆様、また大会が中止とはなりましたが、2年間のご尽力頂いた開催地の釜石市、釜石市社会福祉協議会を始めとする実行委員会の皆様、釜石市身体障害者協議会のご尽力に改めて御礼を申し上げます。

昨年「聞く」ことの大切さを提案しました。今後もコロナ禍の影響で、私たちの行動は制限されることが予測されます。

今年は「聞く」ことはもちろん自分自身の行動半径を広げる努力をしてみませんか。

様々な制約のなかでも新しい行動パターンに挑戦してみましょう。

障害者差別解消法には、「合理的配慮」が明文化されています。

これは障害者個人に対する配慮だけでなく、障害者団体にも配慮されていると判断して行動してはどうでしょうか。

コロナ感染拡大防止の為、事業の中止等により人との出会いが出来ない状態が続いていると思われませんがマスク着用、消毒、三密を厳守して少しずつ事業の展開が出来ることを願っております。

本年も皆様のご健勝とご多幸を祈念し新年の挨拶といたします。



# 第62回岩手県身体障がい者福祉大会釜石大会 ～ コロナ禍を越え、強い絆で ～

昨年に続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため大会が延期、そして中止となりました。年に一度の岩手県内市町村支部会員の皆様が集結し大会を盛り上げることも、会員同士の交流も深めることができませんでした。

被表彰者 岩手県知事表彰：自立更生者（2名）更生援護功労者（2名）  
大会長表彰：自立更生者（13名）団体育成功功労者（8名）援護功労者（1名）  
岩手県身体障害者福祉協会会長表彰：特別賞（1団体）感謝状（1団体）

## ● 大会スローガン ●

- 心のバリアフリーを社会に根づかせよう
- 県・市町村身障協および加盟団体の組織強化を図ろう

## ● 大会決議 ●

「障がいのある人もない人も共に学び共に生きる岩手県づくり条例」の精神を生かして、ここに第62回岩手県身体障がい者福祉大会釜石大会において次の事項を決議する。

- 一、 障害理解の活動を拡げ地域共生社会の実現に取り組もう
- 一、 地域に根ざした心のバリアフリーを広げよう
- 一、 障害当事者参画による地域防災の体制整備をめざそう
- 一、 被災地の身体障がい者団体・会員の復興を支援しよう
- 一、 市町村の相談支援体制に身体障害者相談員を活用しよう 以上決議する

## ● 大会宣言 ●

甚大な被害をもたらした「東日本大震災津波」から、10年余りが経過した。

岩手県では復興の先も見据えた地域復興を視野にいれながら、被災者一人ひとりの復興を最後まで見守り、一日も早い復興を目指している中、ここ釜石市において、県内各地から多くの会員と、被災された会員の参加のもと、第62回岩手県身体障がい者福祉大会釜石大会を盛大に開催することができた。

岩手県身体障害者福祉協会は、時代に応じ、障がいのある仲間との要望を受け、様々な活動を展開してきた。今、障がい及び障がいのある者に対する理解が高まっているなか、障がいのある者の立場から障がい理解の一層の促進に向け、心を一つに活動していかなければならない。

今後、障がい理解に関心が高まるこの機を逃さず、障害者権利条約を踏まえ策定された「ユニバーサルデザイン2020行動計画」が目指す共生社会の実現のため、その趣旨を我々自身が理解するとともに、多くの当事者団体と協力しその役割を果たしていくことが重要である。

そのためにも、釜石市での大会を契機に、障がい者団体、会員との連携のもと一致団結し行動することを誓い、ここに宣言する。

被表彰受賞者のみなさんです **受賞おめでとうございます**

岩手県知事表彰

\*自立更生者\*

(敬称略)

氏名 (生業・障がい後従事年数)	地区名	自立更生の概要
なかむら しょう 鍼灸師 39年	釜石市	昭和49年に障がいを負った後、長年に渡り治療院を営んできた。自立更生を体現し、障がい者福祉の向上にも寄与された姿は、他の障がい者の模範となるものである。
かわそこ よし かつ 農業 29年	一戸町	昭和49年から農業に従事し、平成3年に障がいを負った後も29年にわたり農業に従事してきた。長きにわたり生業に従事し、障がい者福祉の向上にも寄与された姿は他の障がい者の模範となるものである。

## 岩手県知事表彰

\* 更生援護功労者 \*

(敬称略)

氏名 (社会活動現職)	地区名	更生援護の概要
やまもと ひでのり <b>山本 英典</b> 花巻市身体障害者福祉協 会理事	花巻市	平成16年から平成17年、平成24年から現在まで11年間にわたり身体障害者相談員として障がい者の相談活動に従事してきた。また、平成19年から花巻市身体障害者福祉協会理事を務め、長年にわたり地域の身体障がい者福祉の向上に寄与してきた。
ささき れいこ <b>佐々木 玲子</b> 一関市身体障害者福祉協 会 花泉支部副支部長	一関市	平成11年から現在まで22年間にわたり身体障害者相談員として障がい者の相談活動に従事してきた。また、平成21年より一関市身体障害者福祉協議会花泉支部副支部長を務めるなど長年にわたり地域の身体障がい者福祉の向上に寄与してきた。

## 第62回岩手県身体障がい者福祉大会被表彰者

大会会長表彰

(敬称略)

表彰区分	氏名	性別	地区名	表彰区分	氏名	性別	地区名
自立更生者	うわの よしお 上野 芳雄	男	盛岡市	自立更生者	きくち ただお 菊地 忠夫	男	奥州市
自立更生者	いわさき さち 岩崎 幸	女	盛岡市	自立更生者	ちば こういち 千葉 弘一	男	平泉町
自立更生者	たけだ かっつ 武田 カツ	女	盛岡市	団体育成功労者	きくち しゅうこ 菊池 修子	女	花巻市
自立更生者	あさぬま あいこ 浅沼 愛子	女	盛岡市	団体育成功労者	たか はしろう 高橋 藤治郎	男	奥州市
自立更生者	きくち りょうこ 菊池 良子	女	遠野市	団体育成功労者	とく たや工 徳 田 ヤ工	女	雫石町
自立更生者	さわだ かつお 澤田 勝男	男	釜石市	団体育成功労者	なか がわ つぎお 中川 次男	男	雫石町
自立更生者	きむら りょうこ 木村 良子	女	釜石市	団体育成功労者	いし がめ きょう 石 亀 恭	女	雫石町
自立更生者	きの しだ いく 木下 幾	女	釜石市 (大槌町)	団体育成功労者	さいとう やすお 齋藤 保男	男	矢巾町
自立更生者	よしだ えみこ 吉田 恵美子	女	釜石市	団体育成功労者	いずみ さわかつのり 泉 沢 勝教	男	野田村
自立更生者	なかむら さだお 中村 定夫	男	釜石市	団体育成功労者	くまが いれいこ 熊谷 玲子	女	日本紅十字会岩手支部(釜石市)
自立更生者	かわさき ともこ 川崎 友子	女	釜石市	援護功労者	あさぬま とみこ 浅沼 富子	女	花巻市
岩手県 身体障害者 福祉協会 会長表彰	特別表彰	いわてちゅうとしつめいしゃ かい <b>岩手中途失明者の会</b> かい ちよう たけ なみ きよ はる 会長 竹浪清春 発足(昭和55年)					
	感謝状	おうしゅうしんたいししょうがいしゃ ふくし かい <b>奥州市身体障害者福祉会</b> かい ちよう すず き つく みつ 会長 鈴木次三					

## 第36回障害者による書道・写真全国コンテスト

全国障害者総合福祉センター（戸山サンライズ）が実施する書道・写真全国コンテストに書道部門（843点）、写真部門（131点）、携帯フォト部門（60点）が全国から応募されました。岩手県からは、書道31作品、写真2作品を応募しました。応募者の中から栗石町の「上森合洋子さんの（題名：はじめての雪祭り）」が写真部門で「銅賞」に入賞されました。

### 第36回障害者による書道・写真全国コンテスト審査総評

#### 【書道部門】

新型コロナウイルスの感染蔓延により今までの日常生活の営みの維持が難しくなった今年でした。

「三密」を避けての指導は学校や授産施設等に大きな影響を与えてしまいました。集団での行動が制約されて仲間との語りによる心の昂揚や癒し、協和しての行動にも枠を嵌められて何とも不自由な日々を過ごした一年であったかと思えます。

しかし出品者の皆様は負けずに日々鍛錬に励んでいたとの証拠を見せています。一日も早い社会復帰にとの強い意志を感じさせる力感溢れる作が集まりました。

全体を見渡しますと対面指導の減少により学校や施設単位による出品の減少は大きかったと思われます。

身体障害者の受賞者は重度の上肢障害の方々が多くおられます。

その力強さに魅かれました。

健常者に負けない光がありました。

他の作品も自由な心の動きや緊張感に深い感動を覚えました。

今できることを無理せず楽しみながら実行することが光を生み出していると思えます。

書は心から楽しめば生命力のある線が、作品が生まれます。受賞作にそれを見て欲しいと思っています。

又、出品数843人すべてに光があり苦渋の選別を強いられました。

#### 渡部 會山

（創玄書道会審査会員、毎日書道展審査会員）

#### 【写真部門】

第36回障害者による写真全国コンテストに、コロナ禍の中、写真部門131点、携帯フォト部門60点もの多数のご応募を頂きありがとうございました。

身近な光景から雄大な自然まで全国各地の作品が集まり、楽しく拝見させて頂きました

写真は、文化、言葉の違いを越えて、撮影者が、美しい、かわいい、すごいと感じたことを自分だけでなく人に伝えるための表現方法です

何を撮るか、何を表現するか、何に感動して撮影したのか、対象にどれだけ惚れ込んだのかといった撮影者の感性が重要になってきます。構図が決まり綺麗な作品というだけではなく、多少主題が画面からはみ出したり画面が傾いていても、撮った時の感動や思いが観る側の心に響く写真には強さがあります。撮影者が対象に感動して撮影しなければ鑑賞者も感動しません。

今回は応募作品の中から、撮影者の感動、思いが観る側にストレートに伝わり共感できる作品を中心に選びました。

写真のタイトルも自己表現です。見てわかるタイトルから撮影者が感じた思い、感動をタイトルにすることで、作品とタイトルが共鳴し、鑑賞者に撮影者が作品に込めた思い、感動がさらに豊かに伝わると思えます。

「上手な写真」とは、アングル、レンズワーク、構図、露出の適切な写真です。

「良い写真」とは、素直な感動に基づいた共感を伴う写真です。

率直で純粋な感性、感動する心が大切です。技術と感性の二つが共に磨かれ高められ融合すれば「上手くて良い作品」になります。

写真表現は自由です。個性や感性、技を磨き、好奇心を持って、楽しく写真をたくさん撮りましょう。

儀 同 政 一（フォトグラファー）



# 障がい者110番相談室「巡回相談&研修会」のお知らせ

令和3年度障がい者110番相談室「巡回相談」を「軽米町・一関市・八幡平市」の3会場にて開催いたします。個別相談（無料）、「障害者差別解消法について」の研修会（無料）も行います。

令和4年 1月14日（金）	令和4年 2月 2日（水）	令和4年 2月14日（月）
[会場] 軽米町農村環境改善センター	[会場] 一関市川崎市民センター	[会場] 西根地区市民センター
[住所] 軽米町大字軽米 10-85	[住所] 一関市川崎町薄衣字諏訪前 7-1	[住所] 八幡平市田頭 39-80-1

**\* 個別相談会（無料）事前予約を優先いたします \***

時間：10:30～12:00（午前の部） 14:30～15:30（午後の部）

相談員：「須山通治（すやま みちはる）弁護士」  
岩手県発達障がい者支援センター発達障がい支援係長  
岩手県障がい者110番相談室相談員

対象：身体・知的・精神・発達障がい者等、保護者・支援者・教師等

内容：年金・相続・財産・成年後見・ローン・詐欺被害等の法律相談、いじめ・差別・虐待等の人権問題、福祉サービス・人間関係・教育・日常生活における問題等

**\* 研修会（無料）一般公開 \*** ※どなたでも参加できます。  
手話通訳付き

「障害者差別解消法について」

講師：須山通治 弁護士

時間：13:00～14:30

## 書損じ・未使用官製ハガキご寄付のお願い



**年賀状・官製ハガキ等を書損じたものや  
古い未使用のハガキはございませんか？**

当協会では、障がいを持つ方々が自然の素晴らしさを体験していただくためにアウトドアスポーツや文化活動の交流会等を開催しております。

心身に障がいのある方々が、屋内外を問わずスポーツ等を楽しめるよう用具の購入、修理、又は文化活動普及に役立てております。枚数や製造年度に制限はありません。

1枚からでもありがたくお受けいたします。

### 【注意】

郵便局の消印が押されたハガキ、住所不定で返送されたハガキ（一度郵便局で受付したハガキ）ポストカードは書き損じハガキとはなりませんのでご了承願います。

**締め切りはございません ご協力をお願いいたします。**

“ 送付先 ”

しゃかいふくしほうじん いわてけんしんたいしょうがいしゃふくしきょうかい  
社会福祉法人 岩手県身体障害者福祉協会

〒020-0831 盛岡市三本柳 8-1-3 ふれあいランド岩手内

☎ 019（637）7636

## 令和3年度「令和4年1月～3月までの事業のお知らせ」について

- 市町村身体障害者団体役員・事務局担当者研修会及び  
市町村身体障害者相談員連絡協議会研修会  
令和 4年 2月18日(金) ふれあいランド岩手
- 第4回 理事会  
令和 4年 3月 8日(火) ふれあいランド岩手
- 第2回 評議員会  
令和 4年 3月18日(金) ふれあいランド岩手

## 「生命の詩(いのちのうた)基金」は 身体障がい者の方を応援します

岩手県に在住・在勤・在学の皆さんを対象に身体障がい者の方々の結婚、スポーツ大会出場、文化芸術活動の受賞にお祝い金・補助金を贈呈します。

種類	対象者	金額
結婚祝い金	申請時から1年以内に結婚した人	1人 2万円
スポーツ振興補助金	障がい者スポーツの全国大会、国際試合、パラリンピックなどへの出場者。 その他運営委員長が必要と認めた場合。	1件 3万円～10万円
文化芸術振興補助金	内閣府の「心の輪を広げる体験作文」「障害者週間のポスター」コンクールにおいて、内閣総理大臣賞・最優秀賞の受賞者。 その他運営委員長が必要と認めた場合	1件 3万円～10万円

申請方法は・・・申請用紙に記入が必要となりますので、ご連絡ください。

- ・ 障がいを持った方、ご本人の名前で申請してください。
- ・ 所属する身体障がい者団体を通じて、岩手県身体障害者福祉協会内の生命の詩基金運営委員会にご連絡ください。

### ★ 詳しい問い合わせ先 ★

#### いのちのうた(生命の詩)基金事務局

〒020-0831 盛岡市三本柳8-1-3 ふれあいランド岩手内

社会福祉法人 岩手県身体障害者福祉協会内

電話 019(637)7636 fax 019(637)7626

生命の詩基金では、

「あなたのやさしさをカンパしてください」

として募金のお願いをしております。

募金箱をみかけましたら **カンパ** を  
おねがいします。



事業のご案内は、約1ヶ月前に県内の支部、身障団体にご案内いたします。  
特に事業開催地区及び近隣の方々の参加をお待ちしております。  
また、当協会ホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。

URL <https://www.iwashin.or.jp>

Eメール [fks-hon01@iwashin.or.jp](mailto:fks-hon01@iwashin.or.jp)

\*この事業「身障いわて」は(公財)岩手県福祉基金の助成により実施するものです\*